

問1 アフリカ州では、世界の総人口に占める人口割合が1960年以降の約60年間で急速に上昇しています。このような人口変化をもたらししている背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 医療の普及などで死亡率が下がる一方で出生率が高い状態が続き、人口爆発が起きているため
2. 経済発展に伴い、労働力としてヨーロッパや北アメリカから大量の移民を受け入れているため
3. 他の州と比較して少子高齢化の速度が緩やかであり、若年層の割合が一定に保たれているため
4. 一人あたりの国内総生産（GDP）が急上昇し、生活水準の向上により平均寿命が世界一になったため

問2 世界の経度の基準として定められ、イギリスのロンドンにある旧グリニッジ天文台を通る経度0度の線を何と呼ぶか。（2015年 山形公立入試 類似）

1. 本初子午線
2. 日付変更線
3. 赤道
4. 北回帰線

問3 ある国における2018年の貿易統計をみると、輸出総額は5685億ドルにのぼり、品目別では機械類が20.0パーセント、自動車が9.6パーセント、航空機が9.1パーセントを占めています。アフリカ大陸において、このように機械類や自動車を主要な輸出品目としている国はどこですか。（2021年 徳島公立入試 類似）

1. 南アフリカ共和国
2. エジプト
3. ナイジェリア
4. エチオピア

問4 日本とアフリカ東部のケニアとの間には6時間の時差があり、日本の方がケニアよりも6時間進んでいます。日本の標準時子午線が東経135度であることを踏まえ、地球が1時間に15度回転する仕組みを利用して計算した場合、ケニアで使用されている標準時子午線の経度として正しいものはどれですか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 東経45度
2. 東経15度
3. 東経75度
4. 西経45度

問5 アフリカ州の国々の多くでは、英語やフランス語などのヨーロッパ諸国の言語を公用語として採用しています。現地の言語ではなく、ヨーロッパの言語が広く使用されている歴史的な背景として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2023年 高知公立入試 類似）

1. ヨーロッパ諸国との貿易の利便性を高めるために、独立後に導入したため
2. かつてヨーロッパ諸国の植民地として支配を受けていた時期があったため
3. 国内の教育水準を世界標準に引き上げるため、国連の指導で公用語化したため
4. キリスト教を国教として普及させるために、教会の公用言語を採用したため

問6 エジプトとリビア、あるいはエジプトとスーダンの国境線のように、山脈や河川などの自然の地形を利用せず、地図上の経線や緯度に沿って引かれた直線的な境界について述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。（2026年 愛媛公立入試 類似）

1. かつての植民地支配の際、ヨーロッパの列強が民族の分布を無視して人為的に定めたもの
2. 同じ言語や宗教を持つ人々が分断されないよう、現地の住民が話し合っただけのもの
3. 砂漠地帯における遊牧民の移動ルートを確保するために、自然発生的に成立したもの
4. 標高の高い山脈や大河川の流れを基準に、軍事的な衝突を防ぐ目的で引かれたもの

問7 アフリカの熱帯地域で見られる、カカオやコーヒーといった特定の輸出用商品作物を大規模に栽培する農園の名称と、その成り立ちについて説明した文として、最も適切なものはどれか。（2023年 奈良公立入試 類似）

1. プランテーションと呼ばれ、植民地時代にヨーロッパ諸国によって輸出用作物を生産するために開発された。
2. 焼畑農業と呼ばれ、森林や草原を焼いてその灰を肥料とし、主に自給用のいも類などを栽培するために始まった。
3. オアシス農業と呼ばれ、砂漠などの乾燥した地域において湧き水や地下水路を利用して作物を栽培するために発展した。
4. スクラップアンドビルドと呼ばれ、老朽化した農地を一度更地にしてから最新の設備を導入する近代的な手法で拡大した。

問8 古代エジプト文明がナイル川の流域で発展した背景として、この河川が果たした役割についての説明で最も適切なものを次の中から選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

1. 定期的な氾濫によって上流から肥沃な土砂が運ばれたため、乾燥地帯において安定した農業を行うことができた。
2. 一年を通じて降水量が非常に多いため、洪水などの災害が全く起こらず、安全な居住地として適していた。
3. 世界で最も全長が短い河川であったため、流域全体の治水や管理を少人数の集落で容易に行うことができた。
4. 川の流れが非常に急であったため、上流から大量の木材を運搬しやすく、巨大な木造建築が数多く作られた。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 医療の普及などで死亡率が下がる一方で出生率が高い状態が続き、人口爆発が起きているため	アフリカ州では、衛生環境の改善や医療技術の普及によって乳幼児の死亡率などが低下しました。その一方で、出生率が依然として高い水準にあるため、人口が急激に増加する「人口爆発」という現象が起きています。これが世界の人口割合においてアフリカ州の比重を高めている根本的な要因です。
問2	<b>答え 1</b> 本初子午線	経度はこの線を経度0度として、東へ180度（東経）、西へ180度（西経）まで測る。アフリカ大陸においては、大陸西部のギニア湾付近を南北に通過している点が地理的な特徴である。
問3	<b>答え 1</b> 南アフリカ共和国	統計に示されている機械類、自動車、航空機といった輸出品目の構成は、その国がアフリカ大陸内でも際立った工業力を有していることを示しています。ナイジェリア（原油）やエチオピア（コーヒー）などの資源・農産物輸出が主力の国々と比較すると、南アフリカ共和国がいかに工業製品の輸出に特化した構造を持っているかが分かります。
問4	<b>答え 1</b> 東経45度	時差は経度15度につき1時間生じるため、6時間の時差がある場合は15度×6＝90度の経度差があることとなります。日本（東経135度）よりもケニアの方が時刻が遅いため、ケニアは日本よりも西側に位置します。したがって、135度から90度を引いた値である東経45度がケニアの標準時子午線となります。
問5	<b>答え 2</b> かつてヨーロッパ諸国の植民地として支配を受けていた時期があったため	アフリカ州の多くの地域は、19世紀から20世紀半ばにかけてヨーロッパ諸国によって植民地として支配されていました。その統治期間中に宗主国の言語が行政や教育の場で使われるようになり、独立後も多民族国家内での共通の通信手段や、行政手続きの継続性のために、旧宗主国の言語がそのまま公用語として維持されているという背景があります。
問6	<b>答え 1</b> かつての植民地支配の際、ヨーロッパの列強が民族の分布を無視して人為的に定めたもの	アフリカ大陸の多くの国々で見られる直線的な国境は、19世紀後半から20世紀にかけて、ヨーロッパの列強諸国が植民地を分割する際に、地図上の経緯線を基準にして便宜的に引いたものです。この線引きは、現地の部族の居住地や伝統的な生活圏を無視して行われたため、独立後も民族間の対立や国境紛争を引き起こす大きな要因となりました。
問7	<b>答え 1</b> プランテーションと呼ばれ、植民地時代にヨーロッパ諸国によって輸出用作物を生産するために開発された。	熱帯地域で見られる大規模な農園はプランテーションと呼ばれます。これはかつての植民地時代に、宗主国であるヨーロッパ諸国が自国への輸出や国際市場での利益を目的に開発した歴史的背景を持っています。カカオ、コーヒー、天然ゴムなどの特定の作物を大量に生産する体制が、現在のアフリカ諸国の経済構造にも大きな影響を与えています。
問8	<b>答え 1</b> 定期的な氾濫によって上流から肥沃な土砂が運ばれたため、乾燥地帯において安定した農業を行うことができた。	「エジプトはナイルのたまもの」という言葉があるように、ナイル川は毎年決まった時期に増水して氾濫を起こしました。この氾濫によって上流から栄養分を豊富に含んだ土（肥沃な土壌）が運ばれたため、人々は砂漠に囲まれた環境でありながら、計画的な農耕を行うことができ、強大な国家や文明を築く基盤となりました。